

南白小の未来をえがく！

令和6年10月8日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

校長室だより 第7号

～子供たちの未来が明るくなるように～

2年生特集

2年生は学校にも慣れ、素直に反応をする時期です。一回り大きくなり、できることも増えていきます。2年生の学習の基礎が、上学年の学習につながります。そんな2年生の学習の様子をお伝えします。

2年生…図工「あめふり、かたつむり」。



うすい青色を背景に
傘やかたつむりがはえます



ていねいにぬれるよ！

クレヨンで描いた線や模様を入れた傘を、薄い絵の具で塗っていきます。傘が浮き上がって見えます。「はじき絵」の技法です。青色の絵の具を付けた筆を水につけて作った薄い絵の具で、背景を塗ります。その淡い青色がきれいです。

このように、低学年から様々な技法を学んでいきます。高学年になると、学んだ技法を活用して、自分の作品に仕上げることができるのです。系統性の大切さを感じます。

そしてカタツムリをクレヨンで塗り、切り取って、傘との組み合わせを考えました。どの組み合わせにしようか、考える子供の一生懸命さを感じた学習でした。

2年生…生活科「うごくうごくわたしのおもちゃ」



豊富な材料！



よく動くように工夫する

教室には容器や箱など豊富な材料が用意されていました。ご家庭のご協力に感謝です。生活科は「自分の思いや願い」を実現させる教科です。材料が多いほど、子供の思いや願いも広がります。

試行錯誤を繰り返し、よく動くおもちゃを作っていました。動力は、ゴム、風、おもり（電池）、閉じ込めた空気のエラスティック等です。どの動力も、3・4年生の理科の学習で学ぶ内容です。この経験が後の理科の学習に生きていくのです。学習は様々な教科につながっています。

2年生…算数「長方形と正方形」



図形を操作しながら



1時間の流れが分かる板書

2年1組に教育実習生が来ていました。その実習生の授業です。正方形や長方形を対角線上で切り、できた三角形の特徴を

見つけます。すでに習っている図形の要素は、「直線、辺、頂点、直角」です。これらの用語を用いて、共通点に着目し、きまりを見いだしていきます。三角定規をあてて、どこかの角が直角であることに気付きました。しっかり学習している姿が印象的です。

正方形や長方形を対角線上で切り分けた三角形は「どこか一つの角が直角である」とまとめました。そして、一つの角が直角である三角形を「直角三角形」と呼ぶことを知りました。一つ一つの図形要素や図形の呼び方を知り、図形の学習は進んでいきました。この後3年生では、辺の長さに着目して「正三角形」や「二等辺三角形」について学びます。